

産科婦人科館出張 佐藤病院

妊婦・若年女性の栄養改善に向けた医療・地域・行政 連携型栄養教育啓発活動

産科婦人科館出張 佐藤病院は、妊婦や若年女性のやせ・低栄養予防のために、2030年までに、産婦人科を中心とした行政・地域連携型栄養教育啓発モデルを検討し、妊婦・若年女性の栄養改善と健康な次世代の創出に貢献します。

<目標・取組>

- ①2030年までに、当院の出生時体重2,500g未満の出生割合を年間当たり4%未満（2019年4.4%）まで減らします。
- ②2025年までに、当院で発生する低出生体重児の危険因子分析を行います。
- ③様々な大学や企業等との研究を通じて、妊婦・若年女性を対象とした医療・行政・地域連携型栄養教育啓発モデルを検討・開発します。

<達成状況（2023末時点）>

- ①②データベースを作成し、解析中。現在わかっていることは、当院における全妊婦への栄養介入の結果、平均出生体重は上昇傾向にあります。
- ③大学の健康情報コンソーシアムとともに、様々な栄養情報の発信やイベントを通じた健康啓発、実測・解析などを実施中。モデル化を開発中です。

<目標に向けた今後の取組>

- ①現在の取り組みの継続で、2030年までに、低出生体重児の年間当たりの割合を4%未満、さらに減少させられる予定です。
- ②2025年には当院の危険因子分析を行い、そこから2030年に向けて、危険因子の出現を減少させられる取組みを検討、実施していく予定です。
- ③栄養を楽しく学べる実践的なモデルを検討開発していく予定です。

<関連情報>

<https://www.dietitian.or.jp/84/2018/10.html>

https://www.sato-hospital.gr.jp/hospital-introduction/our_initiatives_for_sdgs/

(東京栄養サミットアクションプランにおいて賛同した項目)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 食料システムの変革 | <input checked="" type="checkbox"/> 個人の栄養に関する行動変容の促進 |
| <input type="checkbox"/> 食関連産業のイノベーションの推進 | <input type="checkbox"/> 途上国・新興国の栄養改善への支援 |

【企業・団体の概要】

産科婦人科館出張 佐藤病院は女性の生涯にわたる専門病院として「すべての女性が健やかに輝く未来社会と健康な次世代の創出」を目標に日々の診療と健康啓発に力を入れています。

住所：〒370-0836 群馬県高崎市若松町 9 6

連絡先：027-322-2243